

<全体分析>

試験時間 80 分

解答形式 マーク式、記述式の併用  分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・変化なし・増加) 難易 (易化・変化なし・難化)  出題の特徴 特になし  その他トピックス
--

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	読解総合	長文読解問題	「文化による生活ペースの違い」記述式 (和訳、英語の抜き出し、空所補充、日本語による説明など)・選択式の両方で問われる。文章は平易で、それほど長くはないが、細部にわたって問われているため注意が必要。「遺伝子組み換え食品に対する賛否両論」内容一致に関する選択式のみ。7. 11. 12. 14. は本文の内容を注意深く読まない間違えやすい問題。	標準
II	読解総合	長文読解問題		標準
III	英作文		短い英文中の2つの空所に入れる英文を書く問題。空前前後の英語の流れに合うように書くことが大切。	標準
IV	聞き取り	対話・物語	Aは「放送された英語への正しい返事」を選ぶ(10問)、Bは「放送された英語に最も近い内容」を選ぶ(10問)、Cは長文(物語)に対する内容一致(5問)。A・Bは1回のみ、Cは2回放送される。全体に平易だが、長文では紛らわしい選択肢に注意。放送前に選択肢に目を通してとくと有利である。	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」  
 難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

長文読解の比重が高いため、日頃から多くの英文を読む習慣をつけること。個々の文を正確に読み取る、代名詞の指示内容に気をつけて読むなど、ていねいに英文を読む練習をしておくことが大切。IIの選択式の長文問題は南山大他学部過去の過去問も解いてみるとよい。IIIの英作文は、英文中の空所に入る英語を書く形式。自分の身の回りのことについて、英語で書けるようにしておくこと。特に、文法的に正しい英語を書けるようにしておくことが大切。リスニングに対しては、NHK ラジオ・テレビ放送を利用して、日頃から英語の聞き取りに慣れておくことが対策としては重要である。

I

- 1 (1) a fast pace (2) a slow pace 2.A 3.C  
 4.生活のペースは様々な場所や文化によって異なること  
 5.why individuals have different ideas about time and the pace of life  
 6.定められた時間出来るだけ多くのことを達成しようと人がする努力

7.other 8.C 9.answers 10.B 11.C  
 12.D

II

7.A 8.C 9.D 10.B 11.D  
 12.A 13.D 14.D 15.B 16.A

III

- (1) I want to be able to watch American movies without subtitles and talk to my American friends. (17語)  
 (2) I want to participate in tennis club tournaments with other universities and make new friends. (15語)

IV リスニングテスト

1.C 2.B 3.D 4.B 5.C  
 6.A 7.A 8.B 9.C 10.C  
 11.D 12.A 13.B 14.A 15.A  
 16.D 17.B 18.D 19.D 20.C  
 21.B 22.D 23.A 24.A 25.B